

『初めてのホメオパシー体験で耳管閉塞が改善したケース』

Chhom11 期卒業

及川めぐみ

【要 約】

仕事は通信事業の企画に従事しており 1.2 年前のテレワーク業務からキーンという耳鳴りがあった。最近、定年退職を迎え継続雇用で働いているが、以前よりストレスも軽減されているにもかかわらず、前より左耳が籠っているような症状で聞こえなくなった。耳鼻科を受診し、鼓膜に問題はなく中耳炎でもないという診断で血行促進剤とビタミン剤を処方される。服用後、数日は改善したように感じたが、すぐに同じ症状に悩まされる。隔週末は本格的な趣味のオーケストラ音楽でフルートの練習会をしているため、この症状で演奏に影響が出るのではなかと精神的にも気分が重くなり不安になっている。

【クライアント】 60代 男性 会社員

【主 訴】 突発性の耳管閉塞

【タイムライン】

出生体重：3600 g 乳・ミルク混合
幼少期～31 歳 特記すべきことなし
31 歳 結婚
48 歳 震災後のメンタルの衰弱 抗うつ剤
51 歳 尿管結石症 救急搬送で座薬 自然治癒
57 歳～60 歳 耳鳴りから退職後に耳管閉塞が発症

【体質・外見】

中肉中背 年を重ねても老けたように感じない風貌。 目鼻立ちがハッキリしている。肌はあばた面でポコポコしている。

【性 格】

とても穏やかな人。自分から多くのことは語らない。車の整備、蕎麦を打つ、コーヒーを焙煎する、利き酒師、オーケストラを聴く・演奏など多趣味で黙々と自分の趣味に没頭する。

食事時には、必ず自分の好きなお酒で晩酌をする。それが幸福感を増幅させている。家族の悩みをそっと受け止める懐の深さがある。

【恐怖・不安】

老後の心配からお金が無くなる不安

【ショック・パニック】

4 年前に両親が他界したこと。

【家族の病歴】

母：膵臓がんから肺がんで他界 父：高齢での難聴 肺炎で亡くなる 姉：高血圧
 母母：とくになし 父母：胃がん・老衰
 母父：特になし 父父：喘息

【予防接種・薬歴】

三種混合 はしか 日本脳炎 ポリオ インフルエンザ BCG 抗生物質 鎮痛剤

【2024/5/15】

随時：サポート腎臓	Kali-c 6C	Calc-f 6C	500ml に 10~15 滴
朝	: Ars LM1	コップ 2 cmの水に 2 滴	
昼	: Tub LM2	コップ 2 cmの水に 2 滴	※朝と昼を一緒に処方希望
夜	: Sep LM3	コップ 2 cmの水に 2 滴	

【TBR 検索】

- 1: 108# 聴覚 - 耳鳴り全般 :
- 2: 904# 身体の側面 - 左側 :
- 3: 92# 耳 - 内耳(鼓膜の奥深く):
- 4: 106# 聴覚 - 閉塞した感覚 :
- 5: 2123# 立ち上がる - 寝床 - から起き上がる際、好転 :
- 6: 1703# 寒冷から - 外気(大気、天候)の中で:(+好転 暖かい空気):
- 7: 1067# 硬直(凝り、凝り固まり、固定[ギプスをしたように]):
- 8: 1020# 動くこと(動作) - を嫌う :
- 9: 1747# 不安(恐れおよび恐怖も)から :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Lyc.	9	24	3	1	4	4	3	3	1	3	2
2	Sep.	9	23	3	2	4	3	4	3	1	2	1
3	Ars.	9	19	1	1	2	1	3	4	1	4	2
4	Sulf.	9	18	4	3	2	3	1	2	1	1	1
5	Puls.	8	26	4	1	4	4	4		3	2	4
6	Caust.	8	20	4	1	4	2	1	4		1	3
7	Merc.	8	19	3	3	3	3	1	3		2	1
8	Ign.	8	19	1	1	2		3	3	2	3	4
9	Verat.	8	18	2	2	2	3	3	3	1		2
10	Bry.	8	18	3	1	2	3		3	2	2	2
11	Hyos.	8	16	2	1	1		2	3	3	1	3
12	Zinc.	8	11	1	1	2		1	1	1	2	2
13	Bell.	7	19	4	1	3			3	3	2	3
14	Acon.	7	18	2	2	1			3	2	4	4
15	Calc.	7	18	4	3	4	2		3		1	1

【選択の根拠】

サポート腎臓：耳の問題 老後に対する不安が大きくなり恐怖となっているため

Kali-c： 耳鳴り 保守的な傾向 他の Kali 系 (Kali-m / Kali-n) も考えたが、検索結果 17 位にあったため

Calc-f： 一日中、物事の暗い側面を見るという非常に珍しい傾向、気分は非常に憂鬱。経済的な不安、あるいは、
お金が足りなくなりそうだという考えやもうすぐ経済的に「後退」するのではないかという考え (Allen1)

Ars： 難聴、まるで耳栓をしているかのよう (RA173)

Tub： 耳の問題 家族の病歴からみて実父も難聴であったことから結核マヤズム傾向であると判断

Sep： 音楽に対する聴覚の敏感さ (CK38) / 将来に関して憂鬱なことを考える (CK6)

【経過】

レメディが届くまでの間、家族から首周りが冷えて血行が悪くなっているのではないかという指摘もあり、お風呂の中で首周りや耳周りをマッサージしたところ耳抜きをした感じになり良くなった感覚があったが、すぐに戻るといった状態。しかし、レメディをとった2日後には閉塞感が全くなくなり本人も家族も驚いていました。

【考察】

ホメオパシーは、奥様がキットを持っていたので知ってはいたが、本人はレメディをとることはなく、身体に異変が起きると病院で処方された薬を服用することが普通でした。ホメオパシーがどんなものかわからないし懐疑的な感じではありましたが、今回、耳管閉塞で今後の老後生活に歪みが大きく出ることへの懸念からホメオパシーにチャレンジしました。結果として、本人以上に私も驚いておりますが、レメディをとった後の効果が早すぎて本人が予想以上に満足されており今も症状はぶり返してはいません。短期間で症状改善に至りホメオパシーファンを一人増やすことが出来たことで私の自信にもつながった症例となりました。